

湘南の映画スター 加山雄三



↑「赤ひげ」撮影時の
星澤監督と加山雄三



↓「乱れる」撮影時の
成瀬監督と加山雄三

←三船敏郎、仲代達矢と
加山雄三が談笑している様子

↓加山雄三主演の映画ポスターの数々



映画界のサラブレッドとして、「男対男」(1960年)で鮮烈なデビューを果たした加山雄三。彼はその野性的な甘いマスクで人々の心をとらえ、翌年の「大学の若大将」で若手のトップスターに躍り出ます。このシリーズで得意のスポーツと音楽の才能をいかんなく発揮すると共に、あらゆるジャンルの作品に主演し、時代を象徴するヒーローとなりました。

今回の展覧は、1960年～1970年代を中心に、映画スター・加山雄三がスクリーンを賑わせた当時のポスターやスチルなどの資料でその足跡をたどります。あの時代の思い出を見つけにいらっやいませんか。



↑若大将シリーズ
上映時のポスター



←若大将シリーズで使われた
すきやき屋田能久の看板

入場料金 () 内は団体料金

大人 200円 (140円)
小・中学生 100円 (70円)

※団体は20名以上。
※以下の方は証明書を提示することで無料で観覧いただけます。
・市内在住の小中学生及び市内に通学する児童
・市内に住所のある方で、65歳以上の方、身体障害者手帳の交付を受けた方と介護者1名、療育手帳の交付を受けた方と介護者1名、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方と介護者1名、鎌倉市原子爆弾被害者の援護に関する条例に基づく援護資格認定者の交付を受けた方

映画料金 企画展入場料含む

大人 800円 | 中学生以下400円

※タイムスケジュール一覧は裏面をご覧ください。
先売券情報
「大学の若大将」「エレキの若大将」 1/15(土) 先売券発売
「乱れる」「乱れ震」「赤ひげ」 2/19(土) 先売券発売
《記念館窓口、鳥森書店(鎌倉店)、たらば書房にて先売券販売》

2/8(火)～2/10(木)
大学の若大将

制作年 1961年 | 82分
東宝配給 写真提供: 東宝



監督: 杉江敏男
脚本: 笠原良三、田波錦男 撮影: 鈴木城
出演: 加山雄三 星由里子 田中邦彦 有島一郎

1961年から20年にわたり18回も続いた「若大将シリーズ」の第1話。マドンナを巡って、青大将は若大将と張り合うが、何をやっても若大将に敵わない。加山、田中、星のさわやかな青春トリオで大ヒットし、東宝のドル箱シリーズとなった。両大将はまだ大学生である。

2/11(金)～2/13(日)
エレキの若大将

制作年 1965年 | 94分
東宝配給 写真提供: 東宝



監督: 岩内克己
脚本: 田波錦男 撮影: 西垣六郎
出演: 加山雄三 星由里子 田中邦彦 寺内タケシ

若大将シリーズ第6話で3人のチームワークはさらに冴えている。この作品で加山が歌った「君といつまでも」が大ヒット、「幸せだな～」のセリフが流行語となった。エレキの第一人者寺内タケシの演奏も見ものである。

2/22(火)～2/24(木)
兄貴の恋人

制作年 1963年 | 84分
東宝配給 写真提供: 東宝



監督: 森谷司郎
脚本: 井出敏郎 撮影: 斎藤孝雄
出演: 加山雄三 内藤洋子 酒井和歌子 沢村貞子

加山扮する鉄平は、酒井扮する和子にプロポーズするが拒絶されてしまう。これまで鉄平の交際相手にやきもちをやり、難くせをつけていた妹の内藤だが、兄が本気で恋していることを和子に伝え、二人を結びつけようとする。鎌倉出身の内藤洋子の第三作目である。

2/25(金)～2/27(日)
何処へ(いずこへ)

制作年 1966年 | 91分
東宝配給 写真提供: 東宝



監督: 佐伯幸三
原作: 石坂洋次郎 脚本: 井出俊郎 撮影: 村井博
出演: 加山雄三 沢井桂子 池内淳子 星由里子

石坂洋次郎の有名青春小説の映画化。中学の英語教師として、とある田舎町に赴任してきた熱血漢を中心に描く学園もの。「青い山脈」とともに、戦後の学園ものの元祖で、学校教育の問題がクローズアップされていた当時、この作品も、新しい学校教育の姿を描いて評判になった。

3/8(火)～3/10(木)
乱れる

制作年 1964年 | 96分
東宝配給 写真提供: 東宝



監督: 成瀬巳喜男
脚本: 松山善三 撮影: 安本淳
出演: 加山雄三 高峰秀子 三益愛子 草笛光子

加山扮する酒屋の次男幸司は、世界した兄の優しくしっかり者の嫁、高峰扮する礼子に恋してしまい、許されぬ愛に苦しんでいる。その気持ちを抑えきれず、幸司は礼子に打ち明けるのだが……。名匠成瀬監督が加山の新しい魅力を引き出している。

3/11(金)～3/13(日)
乱れ雲

制作年 1967年 | 108分
東宝配給 写真提供: 東宝



監督: 成瀬巳喜男
脚本: 山田信夫 撮影: 滝沢譲
出演: 加山雄三 司葉子 浜美枝 草笛光子

加山扮する三島は交通事故の加害者。人生が狂ってしまう。一方、司扮する被害者の妻、由美子は、愛する夫を失い、激しく三島を憎悪する。しかし、加害者と被害者だった二人にいつしか愛が生まれ……。成瀬監督の遺作となった。

3/21(月),3/23(水)～3/27(日)
赤ひげ

制作年 1965年 | 105分
東宝配給 写真提供: 東宝



監督: 黒澤明
脚本: 井出雄介 小国英雄 菊島隆三 黒澤明
出演: 三船敏郎 加山雄三 香川京子 二本てるみ

青年医師保本が、長崎の留学から希望にみえて江戸に戻ってみると、許嫁は別の男と結ばれ、就職先も予想外の貧乏な小石川の養生所だった。すっかりくさって、自暴自棄になった保本が、医者らしくない三船扮する養生所の責任者から真の医者の在り方を学ぶ。